

企画提案書

1 プロジェクト名

小さな村から感動を再び！一色手筒花火復活プロジェクト

2 実施理由・背景

平成12年、葵区新聞地区にある40戸ほどの一色の村に400年前から伝わる「一色天満宮」の五穀豊穡を祈念する例大祭のため、30代から40代の住民、男女14人が集まり「一色煙火保存会」を立ち上げました。

郷島煙火保存会から5年間指導を受けたのち、独り立ちして、一色天満宮例大祭のほか静岡まつりを始めとする各地のお祭りで披露してきました。

しかし、立ち上げから20年近くが経過し、会員が高齢化したこと、また、手筒花火の製作にはかなりの費用がかかり住民からの寄附だけでは続けていくことができないこと、更に住民の高齢化により例大祭そのものの開催が難しくなってきたことなどから、令和元年度を最後に、一色手筒花火の活動に幕を下ろしました。(令和元年度末の会員数 13人)

一色天満宮例大祭には、地元のみならず毎年、県外からも大勢の人たちが訪れます。一色手筒花火の終了を発表した以降、様々な方々から、この伝統を是非継続してほしいという声が寄せられたため、昨年度から復活に動き出すこととしました。

※参考：一色煙火保存会の活動

3 プロジェクト内容説明・スケジュール

このプロジェクトは、令和元年度をもって資金不足や高齢化により、大勢の方に惜しまれながらも幕を閉じた「一色手筒花火」を、住民の手で復活させようとするものです。

ふるさと応援寄附金の資金を得て、「一色手筒花火」を復活させ、全国の人達に知ってもらうとともに、新たな会員を募集し、育成して、「一色煙火保存会」の活動を活性化させます。

- 1年目（令和3年度） 一色手筒花火の周知、新たな会員の募集 ⇒今年度実施中
- 2年目（令和4年度） 新たな会員の育成 ⇒今回募集事業
- 3年目（令和5年度） 新たな会員による手筒の披露、他地区との交流

【2年目（令和4年度）のスケジュール】

経験を積んだ会員が新たな会員と組んで、手筒の製作から披露までの一連の作業を指導します。

- 9月初旬 ○一色手筒花火の広報（SNS）
- 9月中旬～10月初旬 ○竹加工（竹取り、煮沸、乾燥）
○手筒花火製作（新会員は手持花火の作成）
- 10月中旬 ○火薬詰め ○手筒花火の披露（新会員は手持花火を披露）
- 10月下旬～ ○新会員募集

4 目指すところ

現在、市内のほとんどの地域で人口の減少と高齢化が進んでおり、特に若い世代の流出が、高齢化や子どもの減少に拍車をかけています。そして、若者や子どもが減少することで地域に活気がなくなり、これが更に若者の流出を招くという悪循環に陥っています。

手筒花火は、40世帯の一色の村に若者の活躍の場を作ること、若者に地元を誇りに感じてもらうこと、都会へ出ていった若者に手筒を思い出すことで地元に戻るきっかけをつくることなど、手筒花火を通して地域の活力を取り戻すことを目的としています。

また、全国の人たちに手筒花火を見てもらい、一色に興味を持ってもらいたいと考えています。

5 寄附の使い道

手筒花火の制作、披露に必要となる以下の経費として使用します。

- 手筒花火制作のための原材料の購入費
- 手筒花火と同時に打ち上げる花火の委託料
- 消防署への申請等に係る経費 など
- ※広報、新規会員の募集は主にSNSを活用して行う。
- ※返礼（返礼品の送付）は行わない。

6 ネクストゴールの設定

ネクストゴール設定額：1,000,000円

ネクストゴール設定時の事業計画

手筒花火の制作、披露に係る経費に加え、使い回しているため老朽化している手筒披露の際に使用する衣装（刺し子法被、又引き、腹掛けなど）を購入します。

（追加） @31,000×14人=434,000円

7 目標金額に満たない場合

目標金額に満たない場合は、手筒花火と同時に行う打ち上げ花火の委託料を削減していきます。また、委託料を削減してもなお不足する場合については、自己資金をもって実施していきます。

8 団体紹介

静岡市葵区の服織西学区は、清流藁科川流域に広がる閑静な住宅街と豊かな自然が残る地域です。中心市街地から車で15分ほどの位置にありながら、春には新聞谷川沿いの桜並木が咲き誇り、また、今回クラウドファンディングを実施する一色煙火保存会による手筒花火などの地域文化が根付いています。

服織西学区自治会連合会は、地域における問題解決に取り組むとともに、これらの自然や文化を守りながら、この地域に暮らす人々にとって住みよいまちづくりを目指して活動しています。

9 広報計画

- 11月上旬 ○一色煙火保存会Facebook、葵区自治会連合会blog、葵区Twitterを活用し、本プロジェクトの寄附の募集を広報
- 葵区役所、中山間地施設でのポスターの掲示
- 東京事務所から首都圏在住関係者へ情報提供
- 1月下旬 ○手筒花火披露の動画と併せ、「ふるさと応援寄附金」の募集を広報
- 一色煙火保存会Facebook、葵区自治会連合会YouTubeチャンネル
- その他 ○自治会連合会への周知

10 目標金額

500,000 円

一色煙火保存会の活動



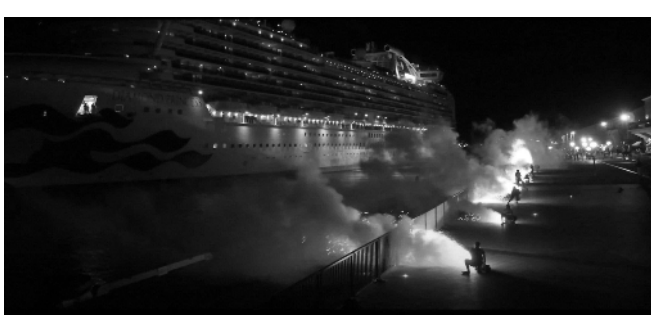
【手筒花火の製作】



【一色天満宮 最後の手筒花火】



【ダイヤモンドプリンセス号乗客への披露】



積算書

団体名：葵区服織西学区自治会連合会

収入			500 千円
	科目	内容・数量	金額
	ふるさと寄附金		500 千円
合 計			500 千円

支出			500 千円
	科目	内容・数量	金額
事 業 費	消耗品費 委託料 手数料	火薬 手筒28本分	121千円
		縄、紙 手筒28本分	112千円
		打上花火 30発	186千円
		申請手数料他 一式	15千円
			434千円
そ の 他	手数料相当	12%+税	66 千円
合 計			500 千円